

図画工作		開隆堂（開隆堂出版株式会社）
総評		<p>共同で行う活動が多く提示されており、主体的・対話的で深い学びの実現ができるように工夫されている。</p> <p>発想や構想のヒントを投げかけるキャラクターがあり、思考力・判断力・表現力を育成し、作品を作り出す喜びを味わうことができるように配慮されている。</p> <p>生活の中で使うものを製作する題材が多く取り扱われている等、豊かな心や創造性の涵養をめざした内容の配慮がされている。</p> <p>文字がやや小さくフォントの色が薄いため、読みづらい部分があり、指導の際には配慮を要するところがある。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的・対話的で深い学びの実現ができるように工夫されている。③（5・6上 P.40～P.41、5・6下 P.16～P.17、3・4上 P.34～P.35、各学年の鑑賞） ○ 完成作品だけでなく、児童が考えたり選んだり伝え合ったりしている場面を多く掲載しており、思考力・判断力・表現力が育成できるよう配慮されている。④ ○ 豊かな心や創造性の涵養をめざした内容を踏まえている。⑤
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活の中で使うものを製作する題材が多く取り上げられており、生活をよりよくしようと工夫する態度が養われるよう配慮されている。① ○ 各学年「みんなのギャラリー」では、日本各地の伝統と文化に触れており、暮らしの中の造形作品を取り上げて鑑賞できるよう工夫されている。（P.48～P.49）③ ○ 「龍」を題材にして形や色、表し方のちがいを視点に鑑賞するなどの活動は、表現及び鑑賞の相互の関連について工夫されている。⑥（5・6下 P.30～P.33） ○ 材料や用具の安全な扱い方などについて資料として組み込まれ、事故防止に留意されている。⑦（学びの資料・安全マーク） ○ 共同で行う活動が多く提示されており、自分の見方や感じ方を深めることができるよう工夫されている。③ ○ 発想や構想のヒントを投げかけるキャラクターがあり、想像力豊かに作品を作る喜びを味わうことができる。④
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ ミシン綴じでページが開きやすく、表紙は紙面いっぱいには児童作品とともに書名が掲載されており、児童にとって親しみやすいものになっている。① ○ さし絵や写真などが鮮明で色づかひの配慮、大きさなどが児童にとって見やすく配慮されている。③ ○ 紙面の配色がカラーユニバーサルデザインの配慮がなされている。
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他教科との関連が進められるページには「あわせて学ぼう」マークとともに、教科名が示されており、教科横断的な学習の手立てとなるよう配慮されている。① ○ 各題材で「学習のめあて」と「ふりかえり」が設定されており、それぞれの題材のねらいが児童に分かりやすく明示されている。②
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 視覚的に親しみやすく、イメージをふくらませやすい写真やイラストが掲載され、造形遊びは、視覚的に展開するよう配慮されている。① ○ QRコードは資料として生かせ、児童の学習意欲を引き出す一つの要因となっている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特になし。
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 掲載されている作品の中には、児童が表現の意欲を持ったり参考にしたりの資料としては、充分ではないものがある。（3.4下 30～31・42～43・5.6上 42～43）④
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文字がやや小さくフォントの色が薄いため、読みづらい。②
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 立体のねんどの題材は、題材名にちがいはあるが、発達段階に応じた内容としてのちがいがあまり見られない。①
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材の補足説明やバリエーションが少ない。①

図画工作		日文（日本文教出版株式会社）
総 評		<p>作品や学んだことを家庭や保護者と共有したり、地域に伝えたりする活動、地域の方と共同して活動する事例などを取り上げることで、自分の見方や感じ方を深めたりする機会となっている。</p> <p>6年間の経験を見通して構成が組み立てられており、身近な材料を用いて、楽しく豊かに造形活動を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う内容となっている。</p> <p>各題材に記載されているめあてやふりかえりの内容が合致していない題材があり、指導の際に配慮を要する。</p> <p>使う材料がくわしく紹介されていなかったり、写真で使われている材料と合っていないところがあり、指導の際に配慮を要する。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 作品や学んだことを家庭や保護者と共有したり、地域に伝えたりする活動、地域の方と共同して活動する事例などを取り上げ、社会に開かれた教育課程の実現に向けて配慮されている。(1・2上P.40～P.41、3・4上P.56～P.57、5・6上P.54～P.55) ①
	2 内容の取扱い	○ 「すきま」という生活や社会の中にあるものから形や色などを考え、豊かに関わる内容として配慮されている。① (1・2年上P.52～P.53) ○ 身近な材料から筆をつくり、それを用いて描くという造形活動が楽しく豊かな活動を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う内容となっている。④ (5・6下P.8～P.9) ○ 題材において、共通事項を視点に対話している情景写真を多数掲載しており、作品のコメントや発表の様子、鑑賞の題材での対話の様子を紹介し、言語活動を促すよう工夫されている。(3・4下P.52～P.53、5・6下P.46～P.47) ⑤ ○ 題材ごとに「かたづけ」「気をつけよう」が表示され、事故防止に留意している。⑦ ○ 保護者や地域と協働して学ぶ題材が用意され、自分の見方や感じ方を深める機会となる。③
	3 外的要素	○ 文字の大きさ。フォント、行間が適切である② ○ コントラストや文字の背景色など、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。④
	4 構成・配列	○ 教科等の横断的な視点を含んだ構成となっている。① (3・4下P.50～P.51) ○ 6年間の経験を見通して構成が組み立てられており、各学年の題材で扱う材料・用具も配慮し、経験を積み上げていけるように構成されている②。
	5 資料・その他	○ 仕組みの作り方などは、図で示すことで分かりやすく、児童が主体的に活動できるように示されている。(3・4上P.45) ① ○ 作品や活動の様子が大きく見やすい写真でインパクトを持たせて掲載されており、児童の興味関心を引き出す工夫がされている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 活動中において対話しながらつくっている様子が伝わりにくい。③
	2 内容の取扱い	○ (5・6上P.30～P.31) ワイヤーを取り扱う題材ではつくっている過程が少なく、作り方がわかりづらい。②
	3 外的要素	○ ページ数が多いが、内容に重複するところもある。① (造形あそび)
	4 構成・配列	○ 各題材に記載されているめあてやふりかえりの内容が合致してなくてわかりづらい。②
	5 資料・その他	○ つかう材料がくわしく紹介されていなかったり、写真でつかわれている材料と合っていないところがあり、指導の際に配慮を要する。④ (3.4下40～41)